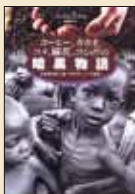


ここから広げよう!!各学部の先生からのオススメ本

READING LIST

人文学部 森久綱 先生



ジャン=ピエール・ポリス 著;林昌宏 訳
『コーヒー、カカオ、コム、綿花、コショウの暗黒物語:生産者を死に追いやるグローバル経済』

作品社, 2005年11月出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 611/B65

私たちは豊かな食生活を享受しているが、その生産者たちの実情を知るものは少ない。著者は代表的な一次産品生産者への取材を通じて、再生産不能な価格での取引による生産者の貧困化と生産基盤の脆弱化、一方で多国籍企業や投資ファンドの収益獲得メカニズムを明らかにしている。今、私たちがこの問題に対してどのように考えなければならないのか。まずは本書に触れることから始めて欲しい。

教育学部 磯部由香 先生、平島 円 先生



一般社団法人 日本調理科学会企画・編集
『伝え継ぐ 日本の家庭料理』シリーズ
一般社団法人 農山漁村文化協会, 2017年12月・出版
『すし: ちらしずし・巻きずし・押しずしなど』
(伝え継ぐ 日本の家庭料理 シリーズ第3巻)
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 596.1/Ts92/3

日本調理科学会では、全国的な調査研究により、地域の特徴ある家庭料理を、聞き書き調査により地域の暮らしの背景とともに記録してきた。この研究の蓄積を活かして刊行されたこの本には各地域に定着した家庭料理の写真、レシピが背景とともに掲載されている。「すし」「肉・豆腐・麩のおかず」などのテーマ別に全16冊が刊行される。日本の食文化理解の導入編としてお薦めしたい。

※現在、第3巻が図書館にあります。その他の巻は、図書館に今後、所蔵予定です。

医学部 成田正明 先生



エレイン・N.アーロン 著;明橋大二 訳
『ひといちばい敏感な子: 子どもたちは、パレットに並んだ絵の具のように、さまざまな個性を持っている』

1万年堂出版, 2015年2月出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 146.8/A79

最近マスコミでも、HSC(Highly Sensitive Child)という言葉が耳にする。ひといちばい敏感な子という意味だ。チクチクする服やいつもと違う服を嫌がる、などだが、相手の気持ちによく気付く、直観力、ユーモアのセンスがあることもあるらしい。敏感さをポジティブに変える!新入生のおみなにもきっと使える!

工学部 小林 正 先生



日刊工業新聞社 著
『モノづくり解体新書』シリーズ

日刊工業新聞社, 1992年10月・出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 502/MO 35/1 ほか

お金さえかければ、良いモノができるが、それはエコではない。それは資源やエネルギーをたくさん使うからである。安くて良いモノをつくるということは、一番最初に取り組むべきエコである。「モノづくり解体新書」はシリーズとして多数出ているが、モノの仕組みと安くつくる工夫が図説でわかりやすく記載されている。特に製造業に就職を希望する学生には読んでもらいたい。

生物資源学部 河村功一 先生



Masatoshi Nei 著
『Mutation-Driven Evolution』

Oxford University Press, c2013
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 467.3/N62

※図書館所蔵は、PB版2014年発行

本書は日本を代表する集団遺伝学者である根井正利博士による生物進化のメカニズムについての解説書。本書は分子進化学の集大成とも言えるべきもので、ウイルスから人間に渡る豊富な実例を交え、生物進化を分子レベルで分かり易く解説している。集団遺伝学は難解な学問ではあるが、本書は生物学の基礎的な知識があれば読める内容であり、生物進化を知りたい方には必読書と言える。

教養教育機構 赤岩 隆 先生



アーシュラ・K.ル=グウィン 著;山田和子 訳
『夜の言葉—ファンタジー・SF 論』

岩波書店, 2006年出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 934/L52

※図書館の所蔵は、1992年刊行の同図書

つい先日亡くなったSF小説作家によるファンタジー・SF論である。SFといえば、たとえば、スパイ小説や西部劇などと同様に、圧倒的に男のジャンルとなっているのが実情だが、そのなかであって、ル=グウィンは、孤軍奮闘、数々の名作SFを残してきた。ファンタジーとSFの関係はもちろん、ジェンダーとジャンルの間柄について考えるのに格好の一冊である。社会的な意味を大きく変質させつつある文学それ自体を考えるのにも役立つ入門書となるはずである。